

# お姫様も通ったロマンチックな道!?

## 風光明媚な姫街道

### 姫街道 周辺

Himekaido

#### この道はなぜ、姫街道と呼ばれている?

姫街道とは、東海道の脇街道のひとつ。磐田市・見付宿から浜名湖の北岸を通り、峠を越えて、愛知県豊川市・御油宿まで続く、およそ60kmの道のりである。古代より重要なルートとして重宝されてきた。最もにぎわいを見せたのは、江戸時代のこと。きっかけは、宝永4年(1707年)におきた大地震である。地震によって東海道の今切口一帯が甚大な被害を受けると、旅人たちはこぞって「迂回路」に押し寄せようになったのだ。

では、なぜ「姫街道」と呼ばれるようになったのか?これには大きく2つの説がある。ひとつは、女性が多く利用したから。取り調べが厳しい新居間所を避け、多くの女性が浜名湖の北側を迂回したのではと推測される説だ。官家・公家・大名の貴婦

人が好んで通ったともいわれている。もうひとつは、「古い」という意味を持つ「ひね」という言葉がなまって「ひめ」と呼ばれるようになったという説である。いずれにしても、便の良い街道であり、数多くの姫君が通ったことに間違いはないだろう。

姫街道の歴史を今に伝える伝統行事にも触れたい。毎年4月に、関所のあった気賀(浜松市北区)で行われる「姫街道中」という行事である。当時の姫行列を再現し、絢爛豪華な大行列に彩られる街道とにぎわいの情景は、いにしへの姫街道の発展をタイムスリップのようによみがえらせてくれる。古代の人々が通った証それは「姫街道中」などによって今なお脈々と受け継がれ、現代の「姫様」たちへと引き継がれていくのである。

#### 江戸時代へタイムスリップ 豪華絢爛な姫様道中

江戸時代の姫様の行列を再現した「姫街道中」は、昭和27年から細江町の気賀宿周辺で開催されている伝統行事。お姫様が腰元・侍・奴など100余名を従えて道中行列を再現し、手踊りや奴踊りなどを披露する。開催は桜が咲き乱れる4月。美しい桜のトンネルを通り抜ける姫様の姿は、息を飲むほどの美しさだ。江戸情緒あふれる「姫街道中」は、時代を超えて今も息づいている。

第62回 浜松市姫街道中  
2014年4月 第1土曜、日曜に開催予定  
浜松市姫街道中実行委員会  
TEL.053-523-1114  
(浜松市北区役所 まちづくり推進課)



江戸時代、正式には「本坂通」と呼ばれていた姫街道。享保3年(1718年)には、徳川吉宗の母である浄円院の一万人を超える行列、幕末には天璋院篤姫が通ったとの記録もある。

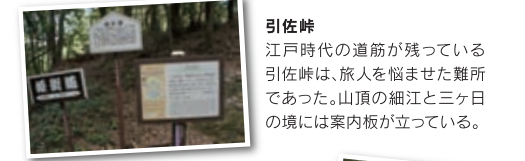
## 気賀宿～三ヶ日宿周辺 悠久の時を旅する

宿場町らしい古い建物が並ぶ気賀宿から三ヶ日宿の周辺は、小さな史跡が残る風情あるエリア。要衝地である気賀関所や自然散策も楽しめる引佐峠など、歴史を感じるスポットが点在するのじゃ。山中の木々、雄大な浜名湖など自然の景色に癒されながら、当時を偲んでみるのじゃ。

Himekaido

### 歴史を刻む風景を歩く

旧姫街道には、自然豊かな「引佐峠」を越える道が今なお残っており、昔の姿を感じることができる。車は入れないためハイキングルートとなっている。のんびりと自然散策をしながら、史跡を巡ってみよう。



**引佐峠**  
江戸時代の道筋が残っている引佐峠は、旅人を悩ませた難所であった。山頂の細江と三ヶ日の境には案内板が立てられている。



**石畳**

険しい山道だった引佐峠には、通行の安全のため各所に石畳が形成されていた。往時の面影が残されている。

**象泣き坂**

享保14年(1729年)、広南国(現ベトナム)より献上された象が、京から江戸へ行く途中、あまりの急坂に悲鳴をあげたという場所。徳川吉宗の時代には、象が通行したという記録も残っている。

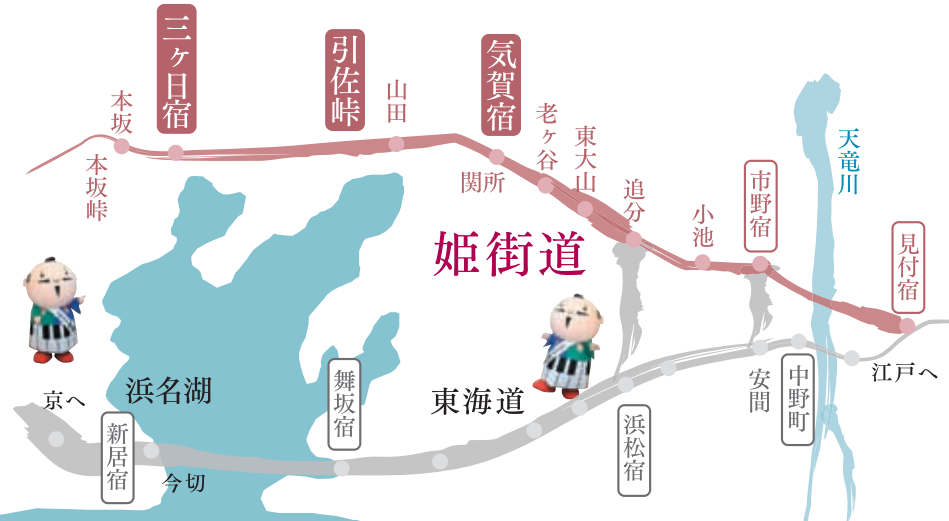


**風光明媚な小引佐からの景色**  
引佐峠より東側にある「小引佐」は、姫街道の中で最も景色のよい場所として有名。奥浜名湖が見渡せる眺望は格別だ。



#### 不思議なお地藏さま 「おもかる大師」

東林寺(浜松市北区細江町気賀1022-1)の裏山・天神山に鎮座する「おもかる大師」は、小さな祠に入ったお地藏さん。願い事を思い浮かべておもかる大師を持ち上げて、軽ければその願いは叶い、重ければ願いは叶わない、という不思議な言い伝えがある。



#### 古都の面影を今に伝える、姫街道の要衝地

気賀関所は慶長6年(1601年)に徳川幕府によって設けられ、箱根、今切(新居)の関所とともに、東海道三関所と称される重要拠点であった。関所の目的は、『入鉄砲に出女』の監視が主要任務であり、鉄砲が江戸に持ち込まれることや、人質として江戸に住まわされていた大名の妻子などが、国元へ逃げ帰るのを防いだ。明治2年(1869年)の関所廃止令により、その長い歴史の幕を閉じ建物も解体された。その一部は民家の屋根として今も残されている。現在の関所は平成元年(1989年)に復元されたもの。本番所や向番所には等身大の関守等の人形が置かれており、往時の様子を偲ばせている。



**【気賀関所】**  
浜松市北区細江町気賀4577  
TEL.053-523-2855  
<http://www.kigasekisho.com/>  
入館料:大人200円 中学生以下無料

#### 姫街道周辺 ご当地グルメ

スイーツからブランド肉まで 旅のおともに!



みそまん



浜名湖そだち



三ヶ日牛

#### 歴史の香りを感じる素朴な饅頭

奥浜名湖の名物「みそまんじゅう」の歴史は古く、100年以上も前の小さな茶屋からはじまった。こしあんを黒砂糖入りの皮で包んだ和菓子で、皮の色が八丁味噌の色に似ていることからこの名前がつけられた。各店ごとに見た目も味も異なり、12店のみそまんをひとつのバックに詰めた「奥浜名湖みそまん物語」が販売されている。食べ比べて、お気に入りの味を見つけよう。

「奥浜名湖みそまん物語」 1,200円(12ヶ入り)  
※浜松地域ブランド「やままいか」認定商品

**【奥浜名湖観光協会】**  
浜松市北区細江町気賀429-1  
TEL.053-522-4720  
<http://www.oku-hamanako.net>

#### 浜名湖畔の牧場で育つブランド豚

日本全国から有名銘柄豚が一同に集まる、銘柄ポークのコンテスト・味覚部門で、全国1位の実績を持つ「ふじのくに」浜名湖そだち。無添加のエサや水にこだわり、脂肪分と保水性が高い肉質を生み出している。うま味が凝縮された脂はクセがなく、とろけるおいしさ。牧場の直売所やレストランもあり、豚を使った絶品グルメを存分に堪能できる。

**【とんきい】**  
浜松市北区細江町中川1190-1  
TEL.053-525-1229  
<http://www.tonkii.com/>

#### ご当地牛ファンも納得の味

温暖な三ヶ日町で育てられた「三ヶ日牛」は、40年以上の伝統がある浜松ブランド牛。全国的に有名な「三ヶ日みかん」を配合したエサを食べ育つ名品だ。美しい肉の色、光沢感、キメの細かさ特徴で、やわらかい食感とジューシーな肉汁が食欲をそそる。姫街道沿いにある焼肉専門店「三愛」では、三ヶ日牛のすべてが味わえる。旅の途中の腹ごしらえにはもってこいだ。

**【炭火焼肉 三愛】**  
浜松市北区三ヶ日町津々崎368  
TEL.053-525-1229  
<http://www.yakiniku3i.com/>